

改訂日 2023年04月01日

作成日 2006年04月01日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

製品名 : ラスカン E M - 8
会社名 : カンエイ産業株式会社
住所 : 〒581-0052 大阪府八尾市竹淵2丁目136番地
担当部門 : 本社 研究室
電話番号 : 06-6708-7517
FAX番号 : 06-6708-0008
メールアドレス : kan-ei@msd.biglobe.ne.jp
緊急連絡先 : 06-6708-7517
推奨用途及び使用上の制限 :

【2. 危険有害性の要約】

G H S分類

健康に対する有害性
皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性 : 区分1
皮膚感作性 : 区分1

G H Sラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷

注意書き

概要

: 使用前にラベルをよく読む こと。子供の手の届かないところ に置くこと。医学的な助言が必要
なときには、製品容器やラベルをも っていくこと。

【安全対策】

: 保護手袋を着用すること。蒸気の吸入を避けること。取扱い後はよく洗うこと。

【応急措置】

: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚に付着した場合 : 多量の
水で洗うこと。皮膚刺激又は発しん（疹）が 生じた場合 : 医師の診察又は手当てを受けるこ
と。眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に
外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける こと。眼の刺激が続く場合 : 医師の診察又は手
当てを受けること。

【保管】

: 該当しない

【廃棄】

: 内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理
業者に委託すること。

【使用上の注意】

: 安全データシート（SDS）を参照して下さい。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 : 混合物
官報公示整理番号（化審法） : 有り
官報公示整理番号（安衛法） : 有り
成分及び含有量

成分	含有量（％）	CAS 番号
鉱油	85～90％	非公開
N a スルホネート	5～10％	非公開
高度硫酸化油	1～5％	非公開

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が

不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 粉末化学消火剤、二酸化炭素、アルコール耐性泡消火剤あるいはウォータースプレーを使用する。
- 特有の消火方法 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 消火を行う者の保護 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- 安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。摂取してはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。
- 保管
- 安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。
- 保護具
- 呼吸器用保護具 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。
- 手の保護具 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。
- 眼の保護具 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

長期間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

適切な衛生対策

： 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態	： 液体
色	： 褐色
臭い	： 鉱油臭
融点・凝固点	： 情報なし
沸点又は初留点および沸点範囲	： 情報なし
可燃性	： 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	： 情報なし
引火点	： 124℃（鉱油）
自然発火点	： 無し
分解温度	： 情報なし
p H	： 8.8±0.5(2%sol)
動粘性率	： 情報なし
溶解度	
水溶解度	： 易溶
溶媒溶解度	： 情報なし
n-オクタンール／水分配係数 （log Pow）	： 情報なし
蒸気圧	： 情報なし
密度及び/又は相対密度	： 情報なし
相対ガス密度	： 情報なし
粒子特性	： 情報なし
その他のデータ	： 情報なし

注記：上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

【10. 安定性及び反応性】

反応性	： 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
化学的安定性	： 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： データなし
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

【11. 有害性情報】

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品についての情報	： データなし
成分についての情報	： N a スルホネート：区分2
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	
製品についての情報	： データなし
成分についての情報	： N a スルホネート：区分1
皮膚感作性	
製品についての情報	： データなし
成分についての情報	： N a スルホネート：区分2

【12. 環境影響情報】

水生環境有害性 短期（急性）	
製品についての情報	： データなし
成分についての情報	： データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	
製品についての情報	： データなし
成分についての情報	： データなし

【13. 廃棄上の注意】

廃棄方法

： 残余廃棄物：おがくず等に混せて焼却炉で少しずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装：空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

【14. 輸送上の注意】

国内規制

： 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

【15. 適用法令】

化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当
消防法 : 危険物第四類第三石油類
労働安全衛生法 : 通知対象物質（鉱油85～95%含有）
毒物及び劇物取締法 : 非該当

【16. その他の情報】

【引用・参考文献】

GHS分類結果データベース, 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
Material data sheet
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019

「記載内容の取扱い」

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。